

平成 25 年度 非常通信体制の総点検の実施結果

1 総点検の実施期間、点検対象（無線局総数等）及び点検結果について

1 実施期間	平成 25 年 8 月 1 日 ～ 12 月 31 日		
2 点検対象			
①無線局総数	点検実施局数	(点検対象局数)	
	33, 296	(33, 981)	
自治体（都道府県、市町村）	4, 444	(4, 562)	
警察、消防	16, 734	(16, 956)	
国の機関	5, 564	(5, 564)	
電気通信事業者	255	(225)	
放送事業者	1, 373	(1, 373)	
その他（電気、ガス、金融等）	4, 956	(5, 301)	
②有線設備（任意）	84	(84)	
3 点検結果			
①無線設備			
良	33, 197 局		
否	99 局	点検項目項番（別紙参照）：該当件数 1:5、2:1、3:3、4:3、5:6、6:4、7:2、8:1、9:1、 10:4、11:2、12:0、13:0、14:0、15:1	
②空中線			
良	33, 250 局		
否	46 局	点検項目項番（別紙参照）：該当件数 16:5、17:1、18:3、19:0、20:1、21:0、22:3、 23:0、24:2、25:0、26:1	
③電源設備			
良	33, 175 局		
否	121 局	点検項目項番（別紙参照）：該当件数 27:0、28:0、29:0、30:0、31:0、32:3、33:2、 34:0、35:0、36:7、37:0、38:0、39:0、40:1、 41:1、42:0、43:0、44:11、45:2、46:0	
④管理体制			
良	33, 135 局		
否	161 局	点検項目項番（別紙参照）：該当件数 47:1、48:0、49:1、50:3、51:1、52:0、53:0、 54:2	
⑤有線設備（任意）			
良	59 局		
否	0 局	点検項目項番（別紙参照）：該当件数 55:0、56:0、57:0、58:0、59:0、60:0	

## 2 総点検の取組及び評価並びに今後の取組について

<p>総点検の取組</p>	<p>点検実施日を平成 25 年 8 月 1 日から 12 月 31 日までの適宜の日、報告期限を平成 26 年 1 月 31 日として、全ての構成員に対し、総点検の依頼文書を送付した結果、構成員 318 機関のうち 175 機関から報告があった。</p> <p>なお、点検対象の無線局及び有線設備を設置していない構成員に対しても、任意で「総点検項目（標準項目）を参考に、非常時の連絡体制等の点検に努めるよう」依頼した。</p>
<p>総点検の評価</p>	<p>(1) 無線設備 「否」の該当件数の多い順に、送受信装置の受信感度低下(6 件)、送受信装置の送信電力低下(5 件)、操作系のマイク・コネクタ等不良(4 件)、電源部の回路等不良(4 件)、送受信装置の送信信号不良(3 件)、送受信装置の受信信号不良(3 件) となっており、大半の機関が経年劣化による性能低下を原因としている。</p> <p>(2) 空中線 「否」の該当件数の多い順に、空中線不良・破損(5 件)、給電線不良(3 件)、耐雷対策不良(3 件) となっており、「耐雷対策」では、一部の機関がデジタル化による改善を挙げている。</p> <p>(3) 電源設備 「否」の該当件数の多い順に、可搬型無線機のバッテリー不良(11 件)、非常用電源設備のバッテリー不良・定期交換未実施(7 件)、通常電源設備の耐雷対策不良(3 件) となっており、「可搬型無線機のバッテリー不良」では、大半の機関がバッテリーの製造中止等による入手困難や経年劣化による容量不足を原因としている。</p> <p>(4) 管理体制 「否」の該当件数の多い順に、危機管理マニュアル等の整備(3 件)、その他(2 件) となっており、「その他」では、2 機関が特殊要因として「建物老朽化や耐震構造不適」を挙げている。</p> <p>(5) 有線設備（任意） すべて「良」という結果であった。</p>
<p>今後の取組</p>	<p>災害時における通信及び放送の確保のため、引き続き、非常通信体制の総点検を実施していく。</p>

## 総点検項目（標準項目）

点検事項	中分類	項番	点検項目	必須項目
無線設備	送受信装置	1	送信電力低下	○
		2	周波数のずれ	○
		3	送信信号不良	○
		4	受信信号不良	○
		5	受信感度低下	○
	操作系	6	マイク、コネクタ等不良	○
		7	ランプ、スイッチ、メータ等不良	○
	監視制御装置	8	機能不良	○
	電源部	9	コンバーター不良	○
		10	回路等不良	○
	設置（保管）場所	11	耐震対策不良	○
		12	津波及び豪雨等による浸水対策不良	任意
	付属装置	13	FAX、映像伝送装置等の不良	任意
		14	連絡線不良	任意
			15	その他
空中線 (アンテナ)		16	空中線不良・破損	○
		17	空中線柱老朽化	○
		18	給電線不良（たわみ含）	○
		19	回転型制御系不良	○
		20	鳥害対策不良	○
		21	航空障害灯不良	○
		22	耐雷対策不良	○
		23	空中線共用器不良	○
		24	耐震対策不良	○
		25	着雪対策不良	任意
		26	その他	任意
電源設備	通常電源設備 (固定する無線局)	27	配電盤不良	○
		28	変圧器不良	○
		29	警報監視装置不良	○

		30	制御装置不良	○
		31	引込線樹木接触	○
		32	耐雷対策不良	○
		33	耐震対策不良	○
		34	津波及び豪雨等による浸水対策不良	○
		35	その他	任意
	非常用電源設備 (固定する無線局)	36	バッテリー不良、定期交換未実施	○
		37	UPS、CVCF不良	○
		38	発動発電機不良	○
		39	発動発電機燃料の不足	○
		40	耐震対策不良	○
		41	津波及び豪雨等による浸水対策不良	任意
		42	非常用電源の継続的な運用体制不良	任意
		43	その他	任意
	電源設備 (移動する無線局)	44	可搬型無線機のバッテリー不良	○
		45	電源ケーブル等不良	○
		46	その他	任意
管理体制		47	機器操作習熟訓練	○
		48	機器操作マニュアルの配置	○
		49	保守委託業者連絡体制	○
		50	危機管理マニュアル等整備	○
		51	非常時要員連絡体制	○
		52	通信訓練実施	○
		53	通信回線被害の発生時における対策	任意
		54	その他	任意
有線設備 (非常通信 ルート)		55	音声不良、データ欠損	任意
		56	交換機不良	任意
		57	サーバ等不良	任意
		58	ルータ、モデム等不良	任意
		59	コネクタ、接続ケーブル等不良	任意
		60	その他	任意